

2010年度FD支援費
「国際的連携のための英語による
講義強化」プロジェクト報告

平成23年10月12日(水)

国際関係学科
杉崎 京太

プロジェクト提案の背景

津田塾大学の国際交流活性化にむけて

1. 国際交流と海外留学生の少なさ

「国際関係学科といっても留学生が少ない」

2. 英語による講義を増やしてほしいとの声

3. 英語による講義とプレゼンテーションの技法をネイティブ教員から学ぶ必要性

プロジェクトの目的

学生

1. 英語による講義に接することで留学への関心を高める。
2. 学生の関心の対象・ニーズについて知る。

教員

1. 英語による講義・プレゼンテーションの技法を学ぶ。
2. カリキュラム改革の準備。

2010年度英語レクチャー開催

講義	開催日	講師	タイトル	参加者数	アンケート回答数
1	7月16日(金)	メルボルン大学 Dr. Ralph Pettman	China's Region-Building Strategy in Southeast Asia	37	34
2	10月1日(金)	バース大学 Dr. Joe Devine	Extreme Poverty Dynamics in Bangladesh	19	16
3	10月7日(木)	ブラッドフォード大学 Prof. John Weiss	Globalisation, Industrialisation and the Rise of the Dragon	8	6
4	10月15日(金)	早稲田大学 Dr. Min Shu	Franco-German Reconciliation and Its Impact on China and Japan	25	18
5	11月1日(金)	一橋大学 Dr. Rieko Kamei-Dyche	Another Side of Medieval Japan:	7	6
6	1月12日(水)	アベリストウィス大学 Dr. Jeff Bridoux	Understanding Postwar Reconstruction:	21	11
合計:				117	91

2010年度金曜日3限授業

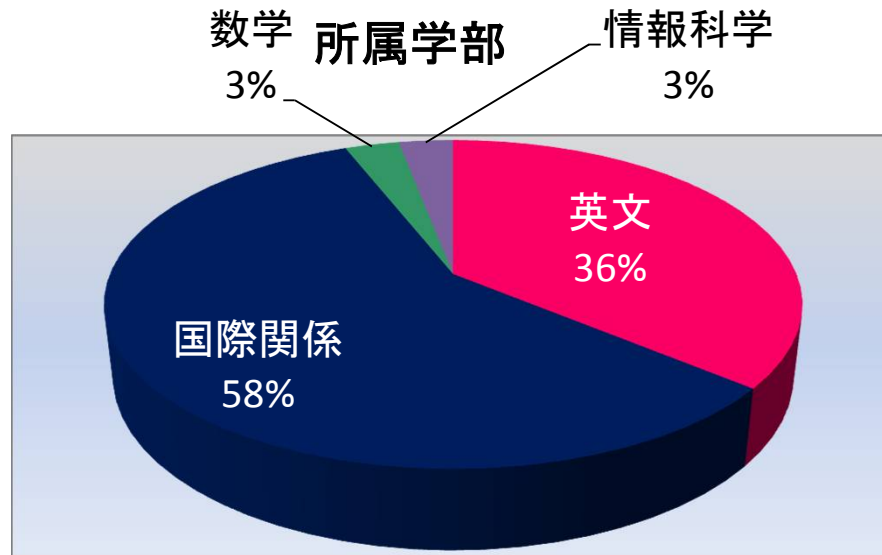
- 通年 28クラス
- 前期 15クラス
- 後期 16クラス



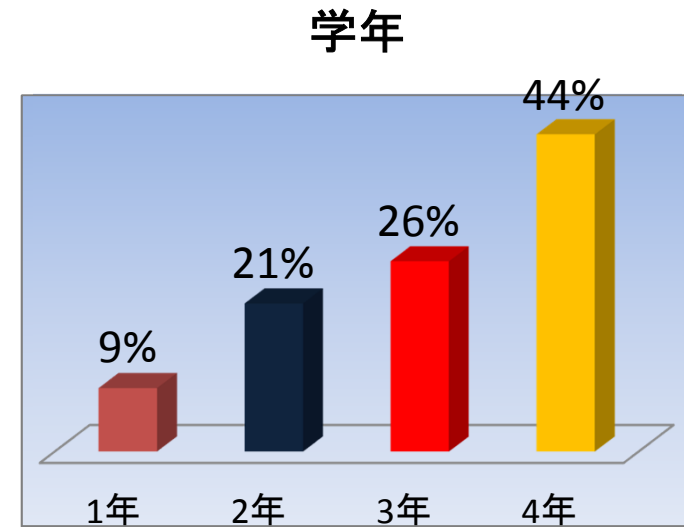
合計 59クラス

1

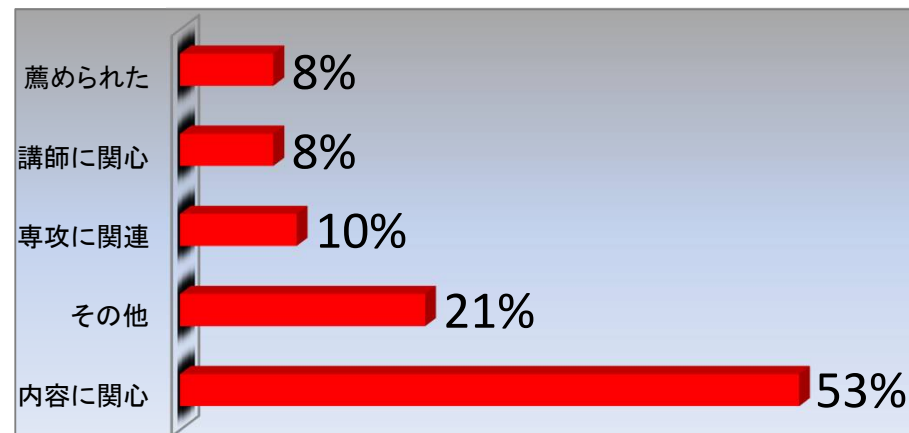
7月16日(金)メルボルン大学 Dr. Ralph Pettman 講義アンケート結果



参加者数: 37
アンケート回答数: 34



参加した理由

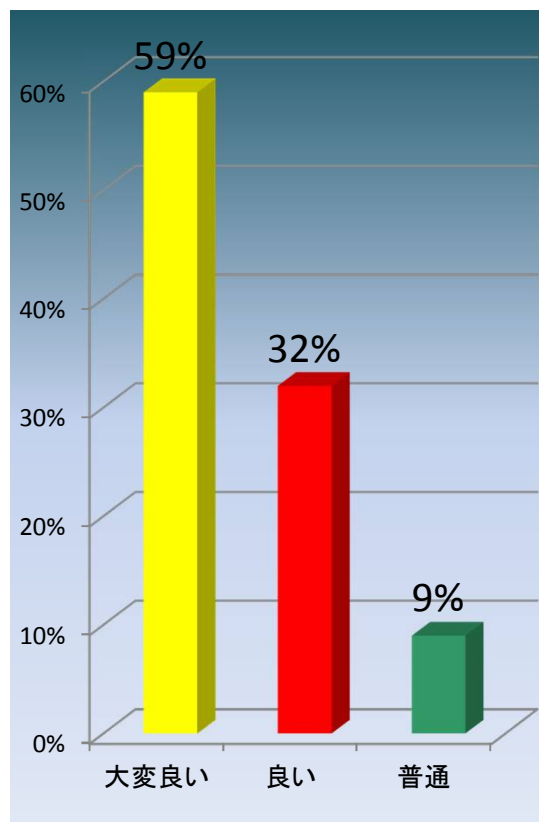


タイトル: China's Region-Building
Strategy in Southeast Asia

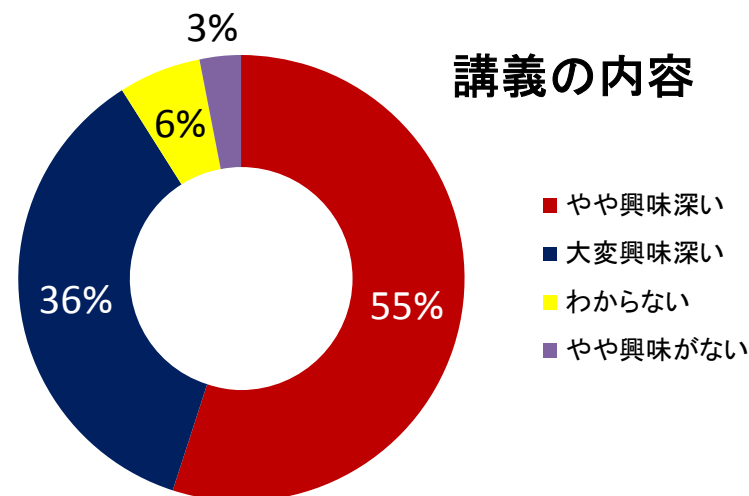
分野: 国際情勢、政治

1 7月16日(金)メルボルン大学 Dr. Ralph Pettman 講義アンケート結果2

講師の評価



講義の内容

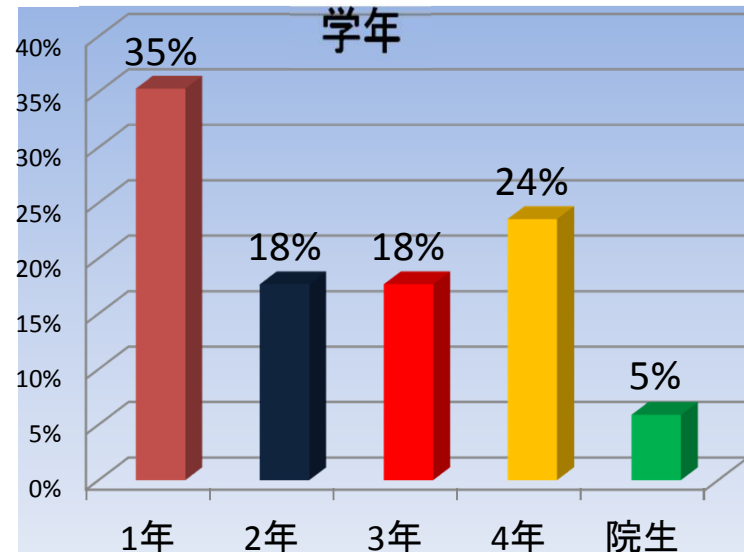
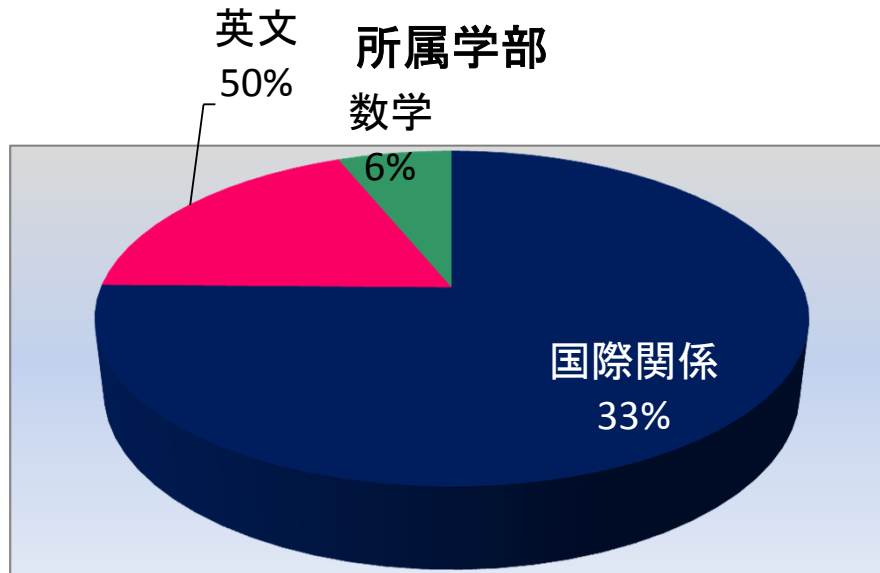


参加学生のコメント

- 英語での講義を聞いたかった。
- とても分かりやすかった。
- 国際関係に興味があった。

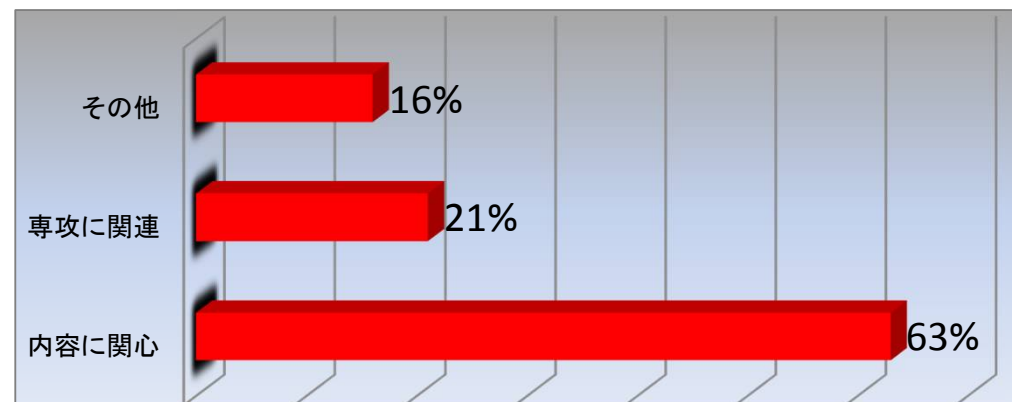
2

10月1日(金)バース大学 Dr. Joe Devine 講義アンケート結果



参加者数: 19
アンケート回答数: 16

参加した理由



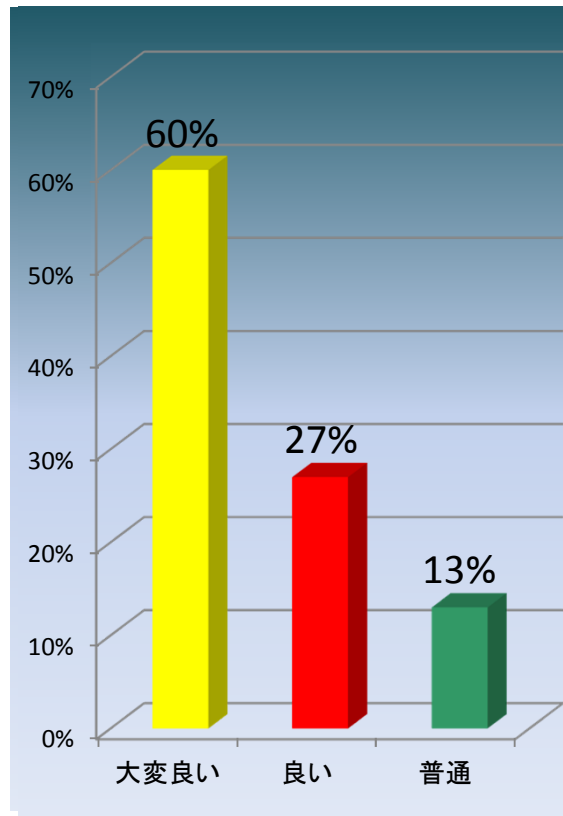
タイトル: Extreme Poverty
Dynamics in Bangladesh

分野: 国際協力、開発

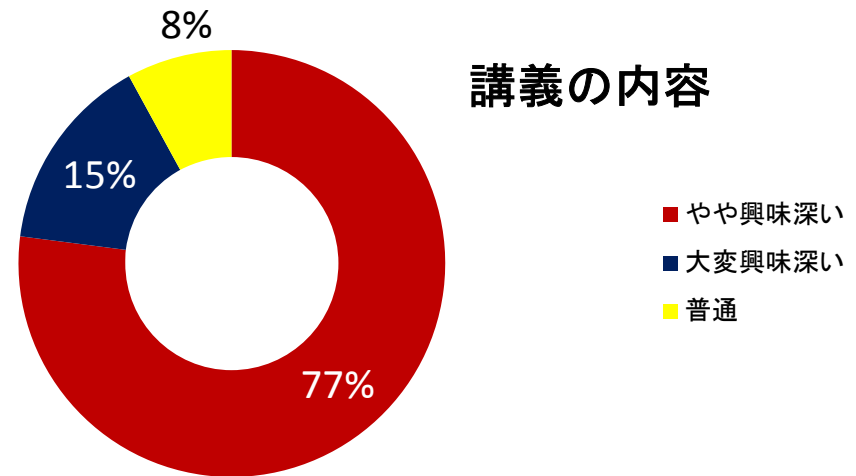
2

10月1日(金)バース大学 Dr. Joe Devine 講義アンケート結果2

講師の評価



講義の内容

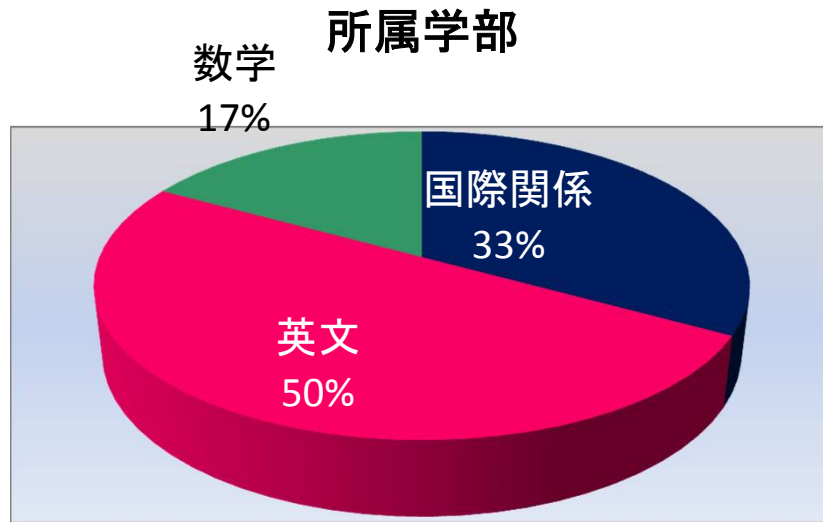


参加学生のコメント

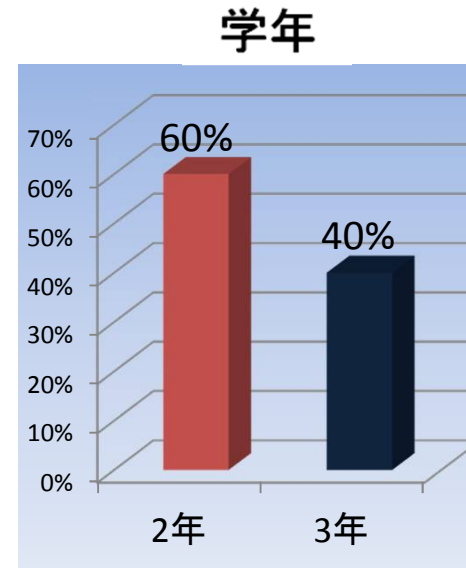
- 講義によって新しい視点を得た。
- 改めて開発について考えた。
- 英語が早すぎて聞きとれなかった。

3

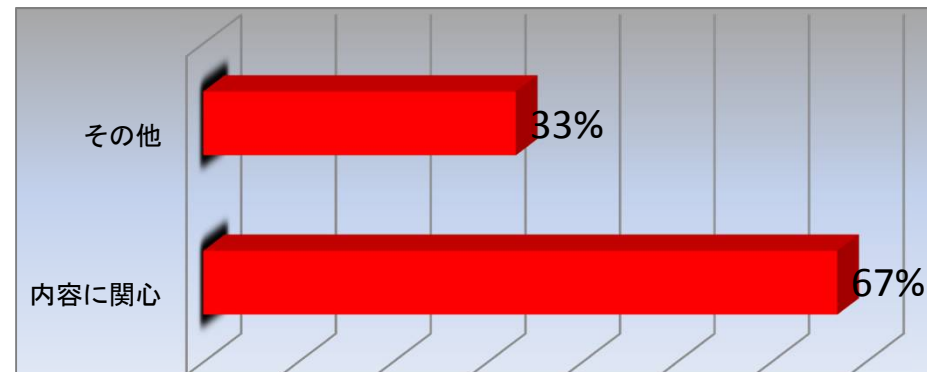
10月7日(木)ブラッドフォード大学 Prof. John Weiss 講義アンケート結果



参加者数: 8
アンケート回答数: 6



参加した理由



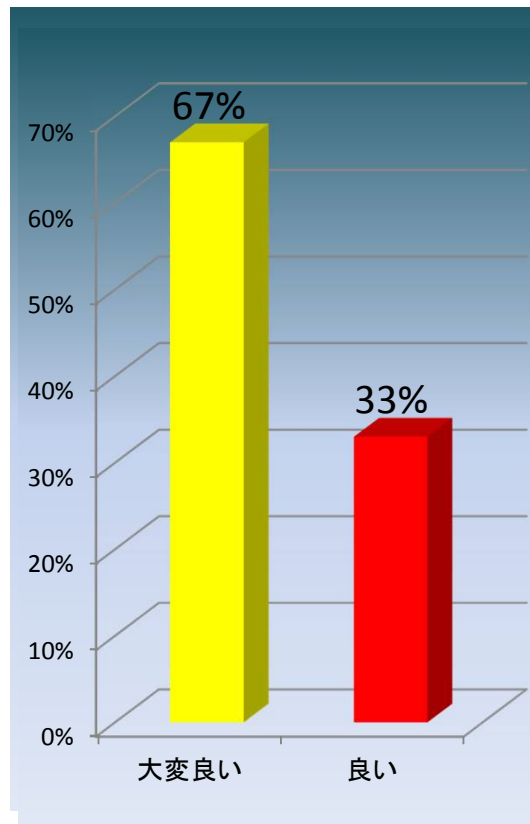
タイトル: **Globalisation,
Industrialisation and
the Rise of the Dragon**

分野: 国際関係、経済

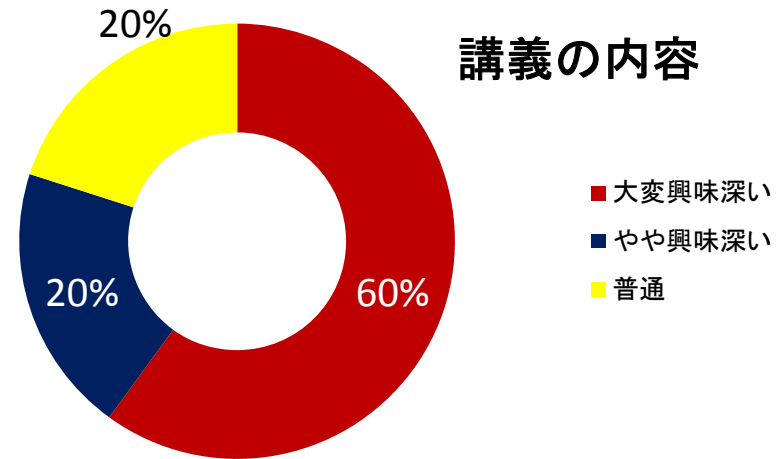
3

10月7日(木)ブラッドフォード大学 Prof. John Weiss 講義アンケート結果2

講師の評価



講義の内容



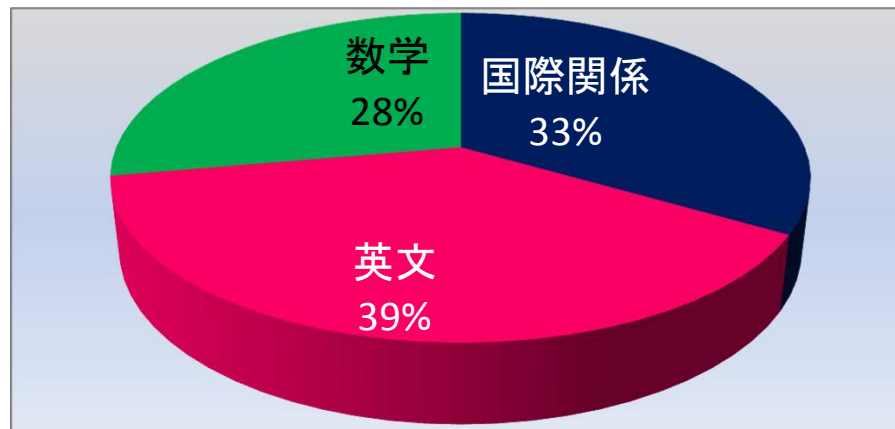
参加学生のコメント

- 丁寧な説明で、分かりやすかった。
- 国際社会での日本の態度を考えるきっかけとなった。
- 自分の専門分野ではなかったが、理解することができた。

4

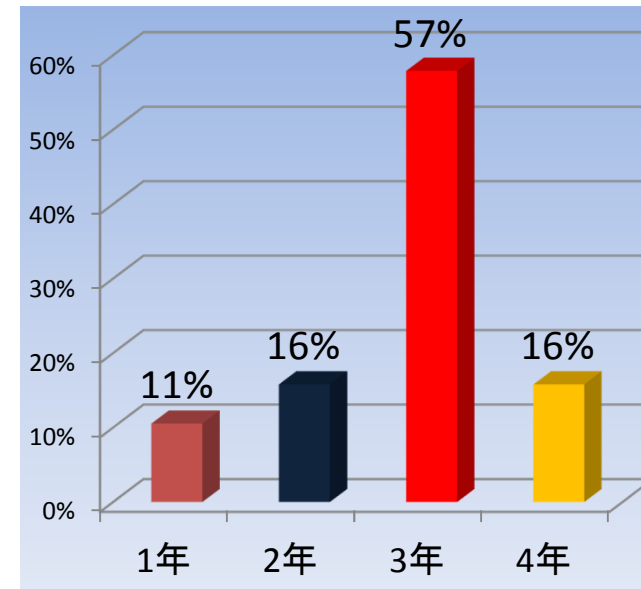
10月15日(木)早稲田大学 Dr. Min Shu 講義アンケート結果

所属学部

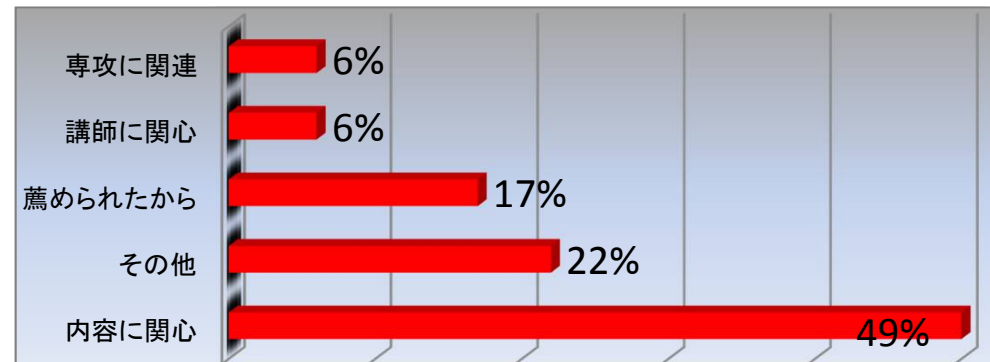


参加者数: 25
アンケート回答数: 18

学年



参加した理由



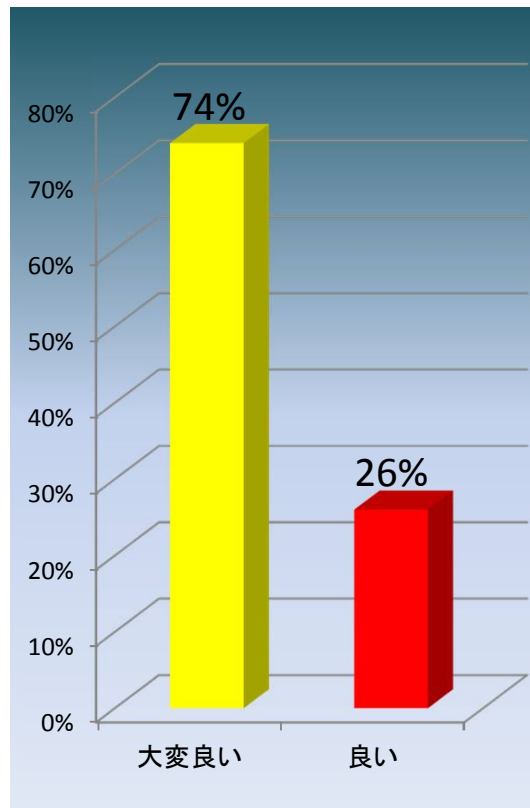
タイトル: Franco-German
Reconciliation and Its Impact on
China and Japan

分野: 国際関係、政治

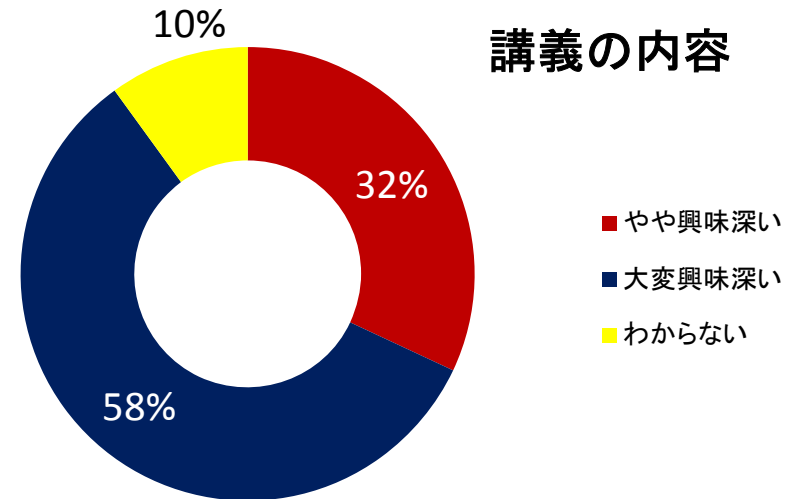
4

10月15日(木)早稲田大学 Dr. Min Shu 講義アンケート結果2

講師の評価



講義の内容



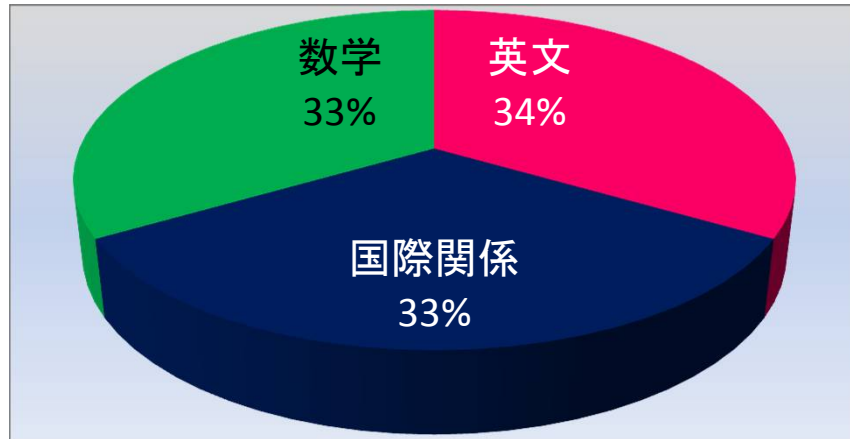
参加学生のコメント

- 理解しやすく、講師がとても良かった。
- ヨーロッパの成功例をアジアにあてはめようとする所が面白かった。
- 日中関係について改めて考えた。

5

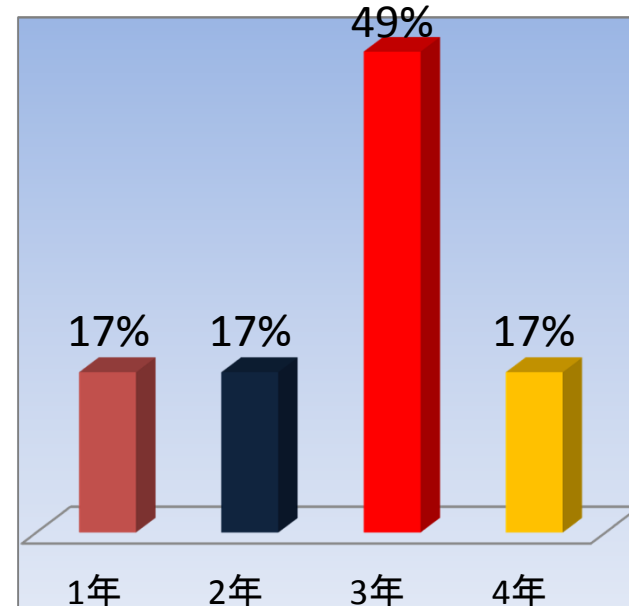
11月5日(木)一橋大学 Dr. Rieko Kamei-Dyche 講義アンケート結果

所属学部



参加者数: 7
アンケート回答数: 6

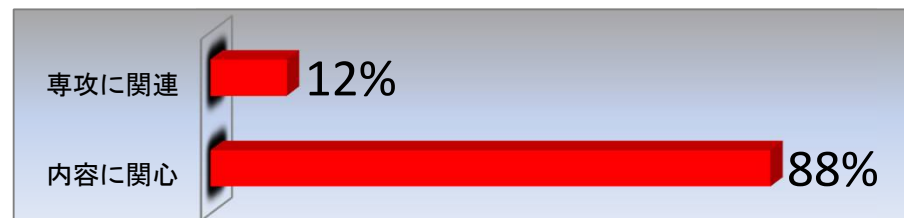
学年



タイトル: Another Side of Medieval
Japan: Courtier Life as Seen
Through Contemporary Writings

分野: 日本文学、歴史

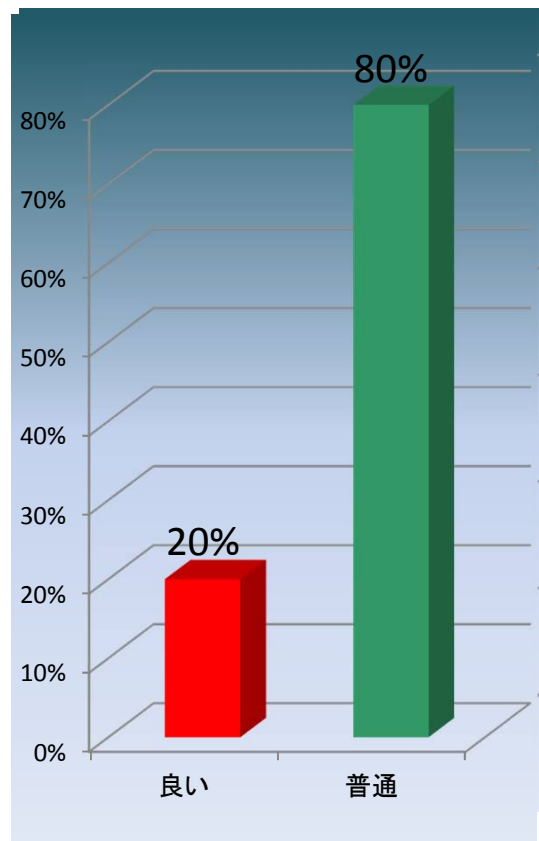
参加した理由



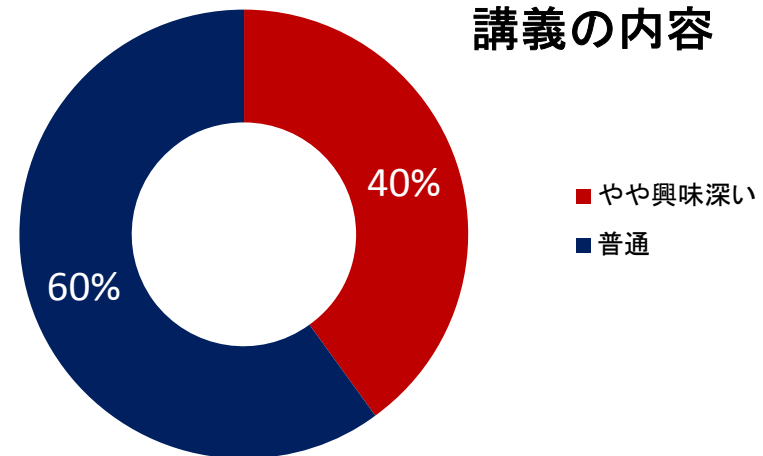
5

11月5日(木)一橋大学 Dr. Rieko Kamei-Dyche 講義アンケート結果2

講師の評価



講義の内容



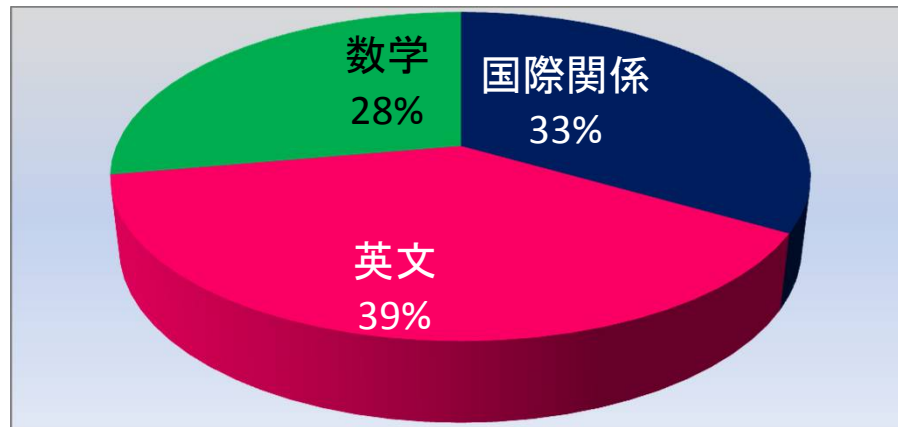
参加学生のコメント

- 西園寺公望の興味深い血筋を知った。
- 今まで知らなかった知識を得た。

6

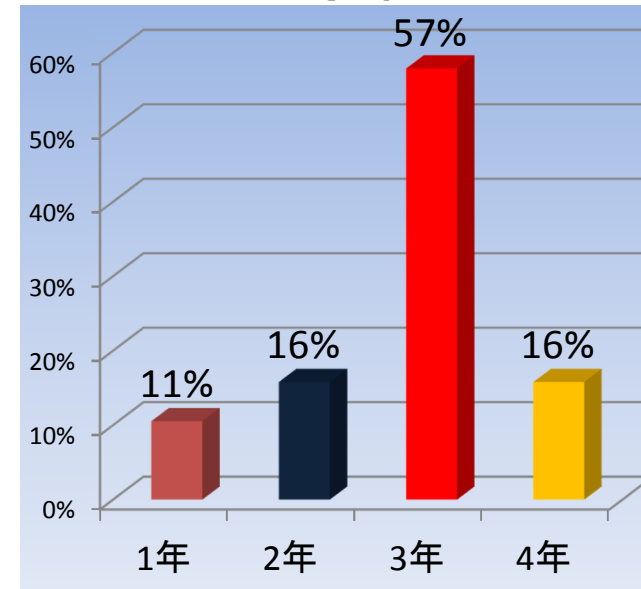
1月12日(水)アベリストウィス大学 Dr. Jeff Bridoux講義アンケート結果

所属学部

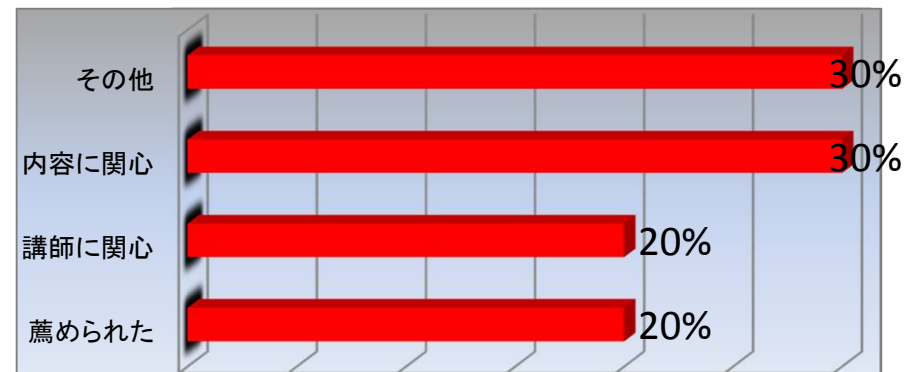


参加者数: 21
アンケート回答数: 11

学年



参加した理由



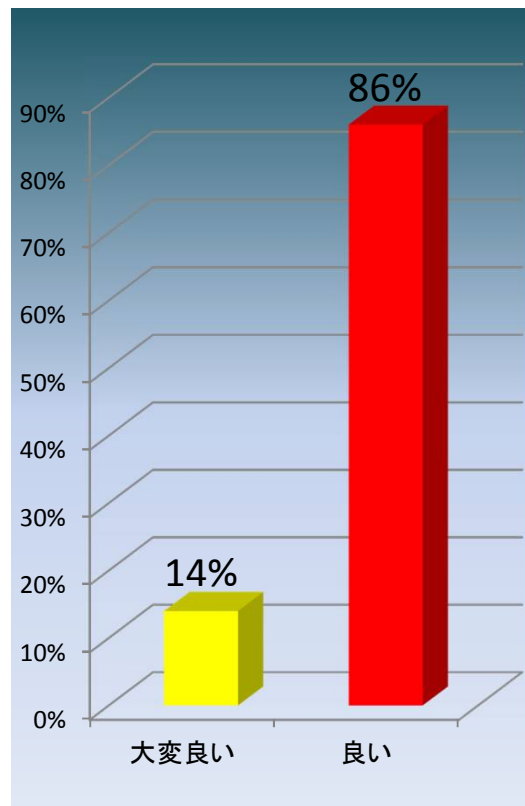
タイトル: Understanding Postwar
Reconstruction: Contrasting
American Power and
Reconstruction Policies in Iraq and
Japan

分野: 国際関係、政治

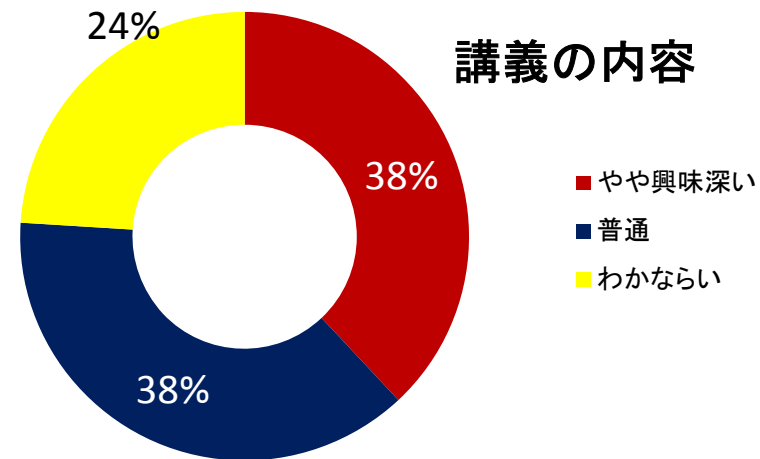
6

1月12日(水)アベリストウィス大学 Dr. Jeff Bridoux講義アンケート結果2

講師の評価



講義の内容



参加学生のコメント

- 英語があまり聞きとれなかったので、英語を勉強しようと思った。
- 難しく感じた。
- 論理的、学問的な内容だった。
- 興味深い内容だった。

プロジェクトの成果

学生

- ・出席数110人超
- ・英語と専門知識を学ぶ機会

教員

英語講義の技法の摂取

英語による講義強化プログラム

カリキュラム

改革の必要性

学外

東京外大新学部創設への対応